



2004年7月7日
株式会社フライトシステムコンサルティング

メインフレーム向け低コスト・バックアップ&ディザスタ・リカバリー・ソリューションを発表 ～オープン系ストレージを活用することでコストを大幅削減 暗号化による安全性確保やリモート・バックアップも実現～

株式会社フライトシステムコンサルティング(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：片山 圭一朗)は7月7日、メインフレーム向けの低コストなデータ・バックアップ・ソリューションと、ディザスタ・リカバリー・ソリューションを発表しました。これらのソリューションはメインフレーム用の仮想テープ・ライブラリー装置とストレージ暗号化装置、ストレージ管理アプリケーション装置を活用することで、オープン系ストレージを仮想的に3480/3490 テープ・ドライブの代用として安全に利用できるようにしたものです。従来のメインフレーム用バックアップ・ソリューションに比べ、大幅なコスト削減を実現できます。

日本企業の多くは現在でもメインフレームを活用しているところが多く、高い安全性や信頼性が求められる分野では、今後もメインフレームが使われ続けると考えられます。しかしメインフレーム向けのデータ・バックアップ装置は極めて高額で、テープ・メディアの購入や保管にも多くのコストがかけられています。またデータの安全性を確保するために、高価な専用線やダーク・ファイバーを利用した遠隔バックアップを行っているケースも少なくありませんが、これもユーザー企業にとって大きなコスト負担を強いています。戦略的なIT投資が求められる現在、データ・バックアップやディザスタ・リカバリーに莫大なコストをかけ続けることは、企業競争力を損なう要因にもなりかねません。

今回発表した「メインフレーム向け 低コスト・データ・バックアップ・ソリューション」と「メインフレーム向け 低コスト・ディザスタ・リカバリー・ソリューション」は、このような問題を解決する上で大きな威力を発揮します。フライトシステムコンサルティングではこれらのソリューションを利用することで、データ・バックアップやディザスタ・リカバリーに必要な投資額や運用コストを約1/100にまで削減できる可能性があるを試算しています。当社では初年度40システムの販売を計画しています。

■メインフレーム向け 低コスト・データ・バックアップ・ソリューション

このソリューションは、米国バステック社(本社：米国マサチューセッツ州)が提供するメインフレーム用仮想テープ・ライブラリー装置「Mainframe Appliance for Storage (MAS)」、米国デクルー社(本社：米国カルフォルニア州)が提供するストレージ暗号化装置「Decru DataFort FC520」、そしてオープン系ストレージ(ハードディスク)を組み合わせたものです。



バステック社の仮想テープ・ライブラリ装置はLinuxをベースにしたアプライアンス製品であり、メインフレーム向けに ESCON/FiCON インターフェースを持ち、最大 64 台分の 3480/3490 テープ・ドライブをエミュレートできます。その一方でオープン系インターフェースとして、最大 2 チャンネルのファイバー・チャネルと Ultra 320/LVD SCSI、デュアル構成の 10/100/1000Mbps のイーサネット・ポートを持ち、多様なオープン系ストレージに接続できます。この装置をメインフレームとオープン系ストレージの間に設置することで、メインフレーム側には全く手を入れることなく、安価なオープン系ストレージを 3480/3490 テープ・ドライブとして利用できます。なおこの製品はすでに米国 IBM の認定も受けています。

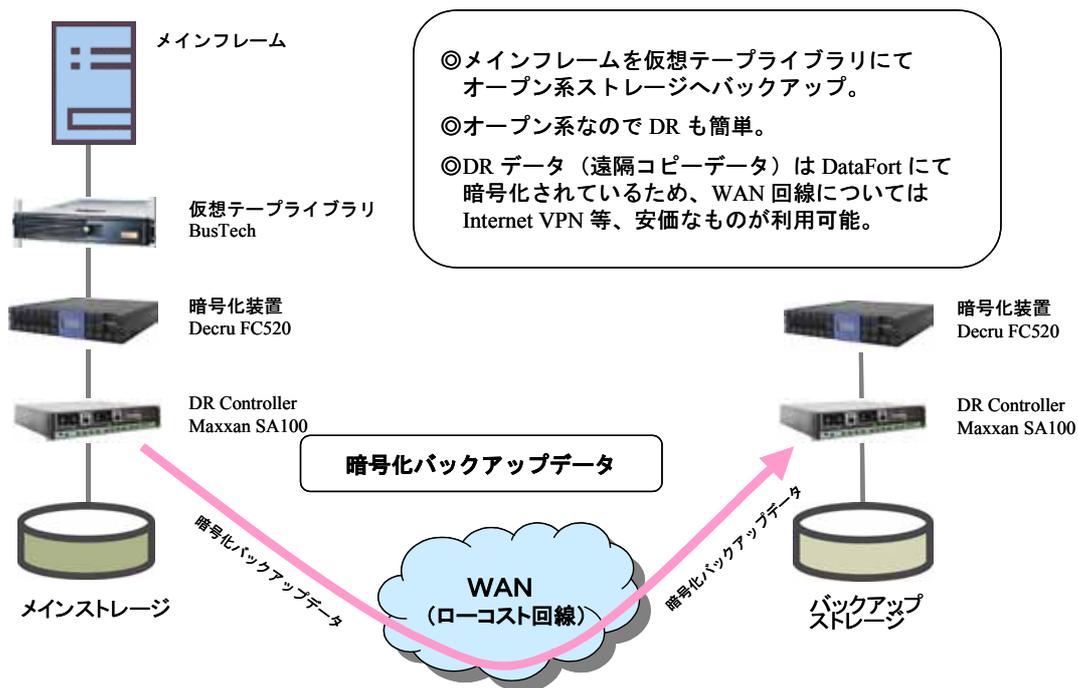
しかしメインフレーム・データをオープン系ストレージにバックアップする場合、ひとつの重要な問題に直面します。メインフレームではクローズドな世界だったことが、オープン系になることで IP 接続による自由なアクセスが起こり得るため、セキュリティをいかにして確保するかということです。この問題を解決するのがデクルー社のストレージ暗号化装置です。この装置はホスト側から送られてきたデータ・ストリームをハードウェアによってリアルタイムに暗号化し、暗号化されたデータをストレージに書き込みます。暗号方式としては米商務省によって暗号化標準として正式承認された「AES 256bit 暗号」を採用。万が一ストレージが持ち出された場合でも、格納されているデータが暗号化されているため、情報漏洩の危険性はありません。

安価なオープン系ストレージをメインフレーム・データのバックアップでも安全に活用できれば、導入・運用コストは大幅に削減できます。またテープ・メディアで発生しやすいテープの固着や磁性面の剥離といった問題も回避可能です。ホットプラグ対応のストレ

ージ装置を活用すれば、ハードディスクを入れ替えながら複数世代のバックアップも取得できます。本ソリューションの価格は 1,400 万円～（ストレージは除く）。

■メインフレーム向け 低コスト・ディザスター・リカバリー・ソリューション

このソリューションは、前述の「メインフレーム向け 低コスト・データ・バックアップ・ソリューション」に、米国マクサン・システムズ社(本社：米国カルフォルニア州)が提供するストレージ管理アプライアンス「SA100f」を追加したものです。



このソリューションを導入することで、サービス・サイト側はオープン系ストレージにデータをバックアップすると同時に、遠隔サイトへのリモート・バックアップを行えるようになります。WAN を通過するデータ・ストリームは暗号化されているため、盗聴や改ざんの心配はありません。そのため専用線やダーク・ファイバーのような高価な回線ではなく、安価なインターネット回線を利用することができます。もちろんキャリアが提供する IP-VPN や広域イーサネットの利用も可能です。回線速度が遅い場合でも、MaXXan の SA100f はデータをキューイングしながらリモートサイトへ転送するので、こういった点からも安価な回線の利用が可能になります。フライトシステムコンサルティングでは今後、通信業者と提携することで、WAN 回線もセットにしたソリューションを提供することも計画しています。本ソリューションの価格はプライマリーサイト、リモートサイト合せて 4,000 万円～（ストレージは除く）。

#



<株式会社フライトシステムコンサルティングについて>

株式会社フライトシステムコンサルティングは、システムコンサルティングやテクノロジーコンサルティング、システムインテグレーション、ソリューションプロダクトを"トータルソリューション"として提供するソリューションプロバイダです。オブジェクト指向技術を駆使した高度かつ高信頼性なシステム構築能力を持ち、マルチメディアやデジタル放送、インターネット、業務システムなど幅広い分野で活躍。また危機管理やセキュリティ、バックアップといったソリューションでも高い実績を持っています。2003年12月にはストレージ最大手の EMC Japan と業務提携を発表するなど、ストレージの有効活用に注力しています。

*フライトシステムコンサルティングに関する詳細情報は、以下のサイトでご参照いただけます。

URL: <http://www.flight.co.jp>

#

◆◆ 今回の発表に関するお問い合わせ窓口 ◆◆

株式会社フライトシステムコンサルティング

プロダクト&サービス事業部 担当 下形 敏彦

Tel : 03-3440-6100 (代表)

Fax: 03-5791-2241

E-mail: sales@flight.co.jp

※記載されている社名ならびに製品名は各社の商標または登録商標です。